

リノベーション工法

概要

リノベーション工法は、当社の不断水工法の技術を駆使して、不断水のまま交換や撤去を行う工法の総称です。

不要になった分岐配管・割T字管・不断水装置を撤去することで次の工事の際に支障をきたさないようにしたり、老朽化した補修弁・空気弁・消火栓・人孔蓋を新規のものと交換することで、その管路を長く安全に使用し続けることができます。

■ 補修弁交換工法

●既設補修弁サイズ φ75～150

●3種類の施工方法を用いて、不断水で補修弁・空気弁・消火栓を交換できます。

置きこま式 既設補修弁が空気弁等の取外し可能な程度の止水性を持つ場合等に適応します。施工スペースは小さく、短時間で施工できます。

スライドプレート式 既設補修弁が止水不良の場合や補修弁が設置されていない場合等に適応します。施工スペースは小さく、短時間で施工できます。

メカニカル式 既設補修弁が開閉不能な場合や、圧力が高い場合等に適応します。

施工前



施工後



■ 双口空気弁交換工法

双口空気弁で下に補修弁や短管がある場合でもスライドプレート式で対応できます。

双口空気弁のみの場合、双口空気弁の下部を切断後スライドプレート式で対応できます。

施工前



施工後



■ 人孔蓋交換工法

大口径管路の付帯設備(人孔蓋、空気弁、消火栓など)の漏水や故障は、その修繕に大規模な断水を伴う事が懸念されてきました。人孔蓋交換工法は不断水工法の技術を駆使して、老朽化した既設の人孔蓋を撤去し、人孔蓋自体だけでなく劣化したパッキンを除去することで腐食部分を丸ごと取り除き、新規の人孔蓋に取替える工法です。

施工前



施工後



■ 分岐配管撤去工法

不要になった配水管を分岐部から不断水で撤去する工法です。
分岐部に直接専用の蓋を取付け、工事を完了するため、作業用の仮バルブ等は一切残りません。

施工前



施工後



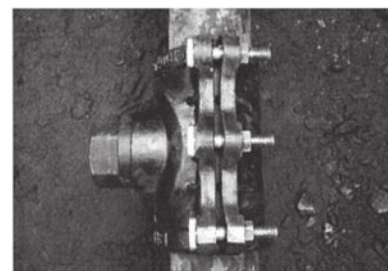
■ 割T字管撤去工法

不要になった割T字管及び仕切り弁を不断水で撤去する工法です。
分岐部に直接専用の蓋を取付け、工事を完了するため、作業用の仮バルブ等は一切残りません。穿孔穴にコアを取付けるため、防食性や止水性に優れています。
割T字管が傾いている場合や割T字管と穿孔穴が芯ずれしている場合でも対応できます。

施工前



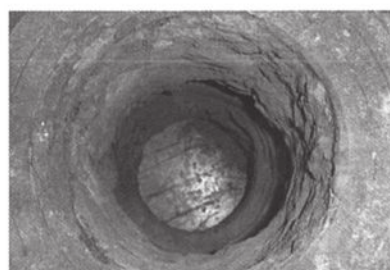
施工後



■ 防錆工法

T字管の分岐縦管部は、水の流れが少なく錆が発生し易いため、錆によって管の内部が縮径し、上方に設置されている消火栓や空気弁が機能を果たせなくなる恐れがあります。
その縦管内部の縮径を防ぐことを目的とし、不断水でステンレス製のコアを挿入する工法です。

施工前



施工後

